

令和5年度 第3回 佐藤小学校運営協議会 会議録 (要点記録)

1. 開催日時 令和5年10月12日(木) 13時30分から16時00分まで
2. 開催場所 浜松市立佐藤小学校 会議室
3. 出席委員 河合 銀平、尾上 弘、酒井 里江子、湯山 紀美代、野中 セつ子、磯部 栄里子、安富 小織
4. 欠席委員 なし
5. オブザーバー 村松 拓也 (東部協働センター長)
6. 学 校 伊藤 千恵 (校長)、高木 康泰 (教頭)、大石 葉子 (CS担当)、鈴木 雅子 (CSディレクター)
7. 教育委員会 堀田 洋一 (教育総務課)
8. 傍聴者 なし
9. 会議録作成者 CSディレクター 鈴木 雅子
10. 議長の選出

前回の運営協議会で、尾上会長自身が議事進行する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

11. 協議事項

- (1) 学校支援活動の充実について
- (2) 学校評価アンケートの項目について

12. 会議記録

教頭から、委員総数7人のうち7人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった

- (1) 学校支援活動の充実について

別紙資料に基づき、教頭から佐藤小コミュニティ・スクールのイメージについて説明があった。

ひき続き学校支援コーディネーターの安富委員から、教育活動の目的を明確化するとともに、現在足りていないと考えた『健やかな子』に関する学校支援活動等の提案があった。

その後、以下の内容について委員から意見を求めた。

◎学校支援活動につながる地域の宝(地域の人・もの・こと)はないか。

◎今後、学校支援活動を活性化させるための手立てはないか。

- ・募集の仕方、名称等について
- ・事前準備(事前説明、購入物等)について
- ・活動の周知の仕方について

酒井委員 近所の方がタスキをつけて家の前に立ったり、散歩したりするだけでも見守りになる。旗振りとは違う個人的な活動になるが、広げていけると良いと思う。また地域の事業者に見守りとしてステッカーを貼ってもらったらどうか。

尾上委員 『健やかな子』に関する学校支援活動については今後も検討していく。

ボランティアに参加してくれる方を募集するときに大まかでよいので行事年間予定があると助かる。予定がわかればいろんな人が参加しやすくなる。

参加者を募集するに当たり、ボランティア活動のきまりを明言すると良い。

地域住民に活動を広く周知させるため自治会に協力を仰ぎたい。

安富委員 何かあったときの為に校内活動だけでなく地域のボランティア活動に参加してくださる方全

てを把握できるようにしたい。参加者への保険の問題があるので。

ボランティアの参加者を集めて年度始めや年度終わりに顔合わせできるとよい。そこでボランティアに対する共通理解を深められると思う。

募集については何か手軽に使えるツールがあると良い。個人情報の管理をどうしたらよいかなど学校としっかり話し合っていきたい。

学校支援コーディネーターは、現在行われている活動の不足している部分を補い支援していく役割であると考えている。

熟議の結果、地域と学校の結びつきを大切に『佐藤方式』を築いていくことを承認した。

(2) 学校評価アンケートの項目について

別紙資料に基づき、教務主任から前回いただいた意見を参考に見直したアンケート項目について説明があり、委員からは以下の発言があった。

安富委員 アンケートに答える立場によって言葉のとらえ方が違ってくる質問や、意味の通じない箇所があるので再考してほしい。

その他報告事項

教頭から次回会議は、令和6年2月21日（水）9時30分から佐藤小学校会議室で開催する旨の報告があった。

また次回会議までに行われる、参観会とわくわく音楽会についての案内があった。